

第3回大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（小学校・義務教育学校【前期課程】）

第1地区部会 議事要旨

1 日 時 令和5年7月4日（火） 午前9時00分～午後0時00分

2 会 場 大阪市教育センター 音楽研修室

3 出席者

（委員）

本地区部会長、添田委員、西村委員、鴻上委員、山口委員、神山委員、岩崎委員

（事務局）

小花首席指導主事、大竹野次席指導主事、松岡総括指導主事、馬場指導主事、
藤田指導主事、土橋指導主事、上田指導主事

4 議 題

（1） 各調査会の報告及び質疑について

5 議事要旨

（1） 事務局より、各調査研究の経過について報告を行った。

（2） 各調査会の報告を踏まえて専門調査会調査結果について議論し、生活以外の種目について、案のとおり了承された。

（3） 意見等の概要は以下のとおり。

【国語】

- ・ 他の教科でも活用できるものやメモなどの事例が応用しやすいものがよい。
- ・ 具体的すぎる面もあるが、第1地区の学力の状況に合致しているのではないか。

【書写】

- ・ 対話的な学びにつながるものや注意事項が入っていることも評価できる。

【社会】

- ・ 防災の記述について、第1地区には0m地帯も多く、マイ・タイムラインの作成はよいのではないか。

【地図】

- ・ 防災について、具体的に何をするか分かるように工夫されているものがよい。また、大阪の地図についても地域学習に活用できる。

【算数】

- ・ 生活の中で算数を使うことは優位性のある2者ともに評価できる。基礎基本の定着や学力の向上に関しては、発達や習熟に合わせた問題が載っているほうがよい。

【理科】

- ・ 他の教科や中学校とのつながりについて、実際に使う際にどう活用できるのか。→家庭科など、実生活の中での理科の視点をもつことが大切であり、授業でも生か

すことができるとした。

- ・ 中学校や他教科へのつながりの記載が多いことは評価できる。SDGs との関連が記載されていることもよいのではないかな。

【生活】

- ・ 多様性について、車いすの児童や家族についての図柄だけで比較することは難しいのではないかな。他の観点での比較が必要ではないかな。
→再度調査のうえ、次回の選定委員会で報告を行う。

【音楽】

- ・ 動画などは授業でも使えるのかな。
→一人一台端末があり、手元で見ることができる。

【図画工作】

- ・ 経験の浅い先生は教材に頼ることが多い。創造性をもって友達と表現を出し合うことが大切である。

【家庭】

- ・ SDGs は大切であり、家庭は密接なかかわりがあることから、その点からも評価する。

【保健】

- ・ 対話での学びは大切であり、自分の健康について話し合うなどの場面で使いやすいほうがよいと考える。

【英語】

- ・ スモールステップは実践的でよい。
- ・ メインキャラクターの設定も感情移入できる。

【道徳】

- ・ SNS の取扱いに関わって各社の特徴はあるかな。
→各者「情報モラル」について取り上げている。

(4) 今後の流れ

- ・ 次回、7月13日(木)の第4回選定委員会地区部会で、生活の再審議と、全種目の答申資料についての審議を行い、決定する。

6 会議資料

- (1) 調査の観点(第1地区版)
- (2) 学校調査会調査集約結果
- (3) 学校調査会(代表的コメント一覧)
- (4) 専門調査会調査結果
- (5) 定量的調査資料
- (6) 教科書展示会アンケート集計資料(第1次)
- (7) 答申資料(案)
- (8) 令和2年度使用小学校教科用図書一覧